

令和6年度学校保健委員会



令和6年8月28日
石神井東小学校

定期健康診断結果より <内科検診>

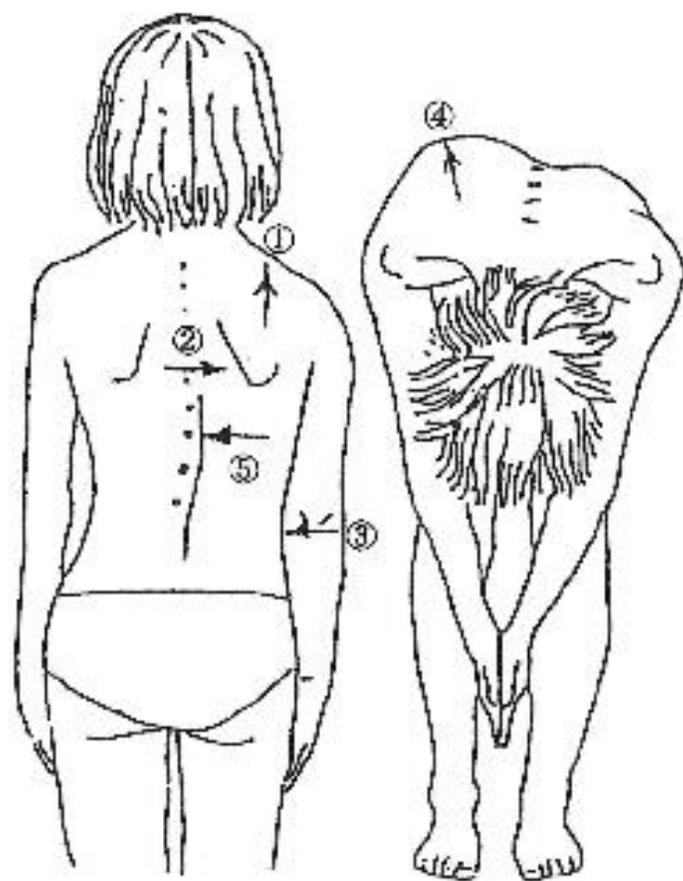


	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
結核検診精密検査対象者	0	0	0	0	0	0	0
心臓検診二次・精密検査対象者	4	0	0	0	0	0	4
腎臓検診二次検査対象者	1	1	3	0	6	3	14
●脊柱側彎症精密検査対象者					18	8	26
四肢の状態	0	0	0	0	0	1	1
★アトピー性皮膚炎 ***	5	5	3	5	4	7	29
★気管支ぜんそく ***	2	4	1	2	2	4	15
★食物アレルギー（給食対応）	2	1	4	4	3	5	19

- * 5・6年生対象の検査（校医の先生がスクリーニング）→精密検査は、医療健診センターにて実施
- レントゲン検査にて胸椎に所見があり、経過観察になる場合もあり。ほとんどは、脊柱の異常はなかった。
- *** 1年以内に症状が出たもの（保健調査票より）★アレルギー疾患が多い。

(健診センター用) 名簿と一緒に教育委員会へ送付

脊柱側弯症健康診断カード



<チェックポイント>

番号	項目
1	両肩の高さ
2	両肩甲骨の高さ・位置
3	脇線の左右比較
4	前屈した時の背面の高さの左右比較 (特に、肋骨部及び腰部部)
5	脊柱棘突起の配列状況

<肥満傾向>

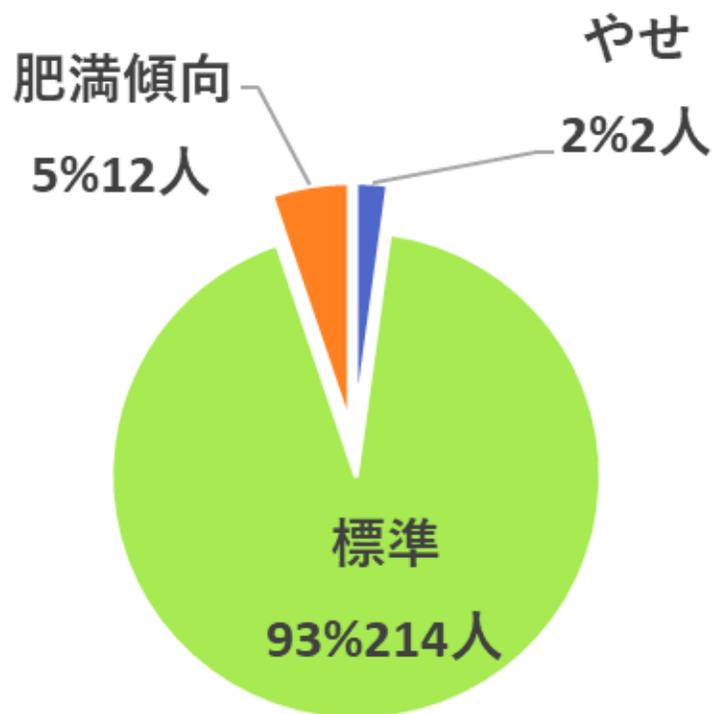
* 肥満度 (%) = (体重 - 標準体重) ÷ 標準体重 × 100

やせ : -20%以下

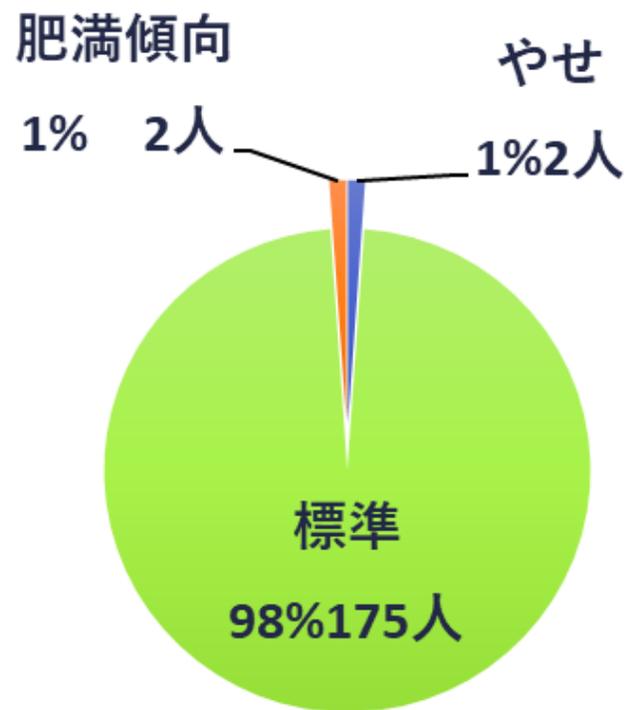
標準 : -19.9~+19.9%

肥満傾向 : 20%以上

男子



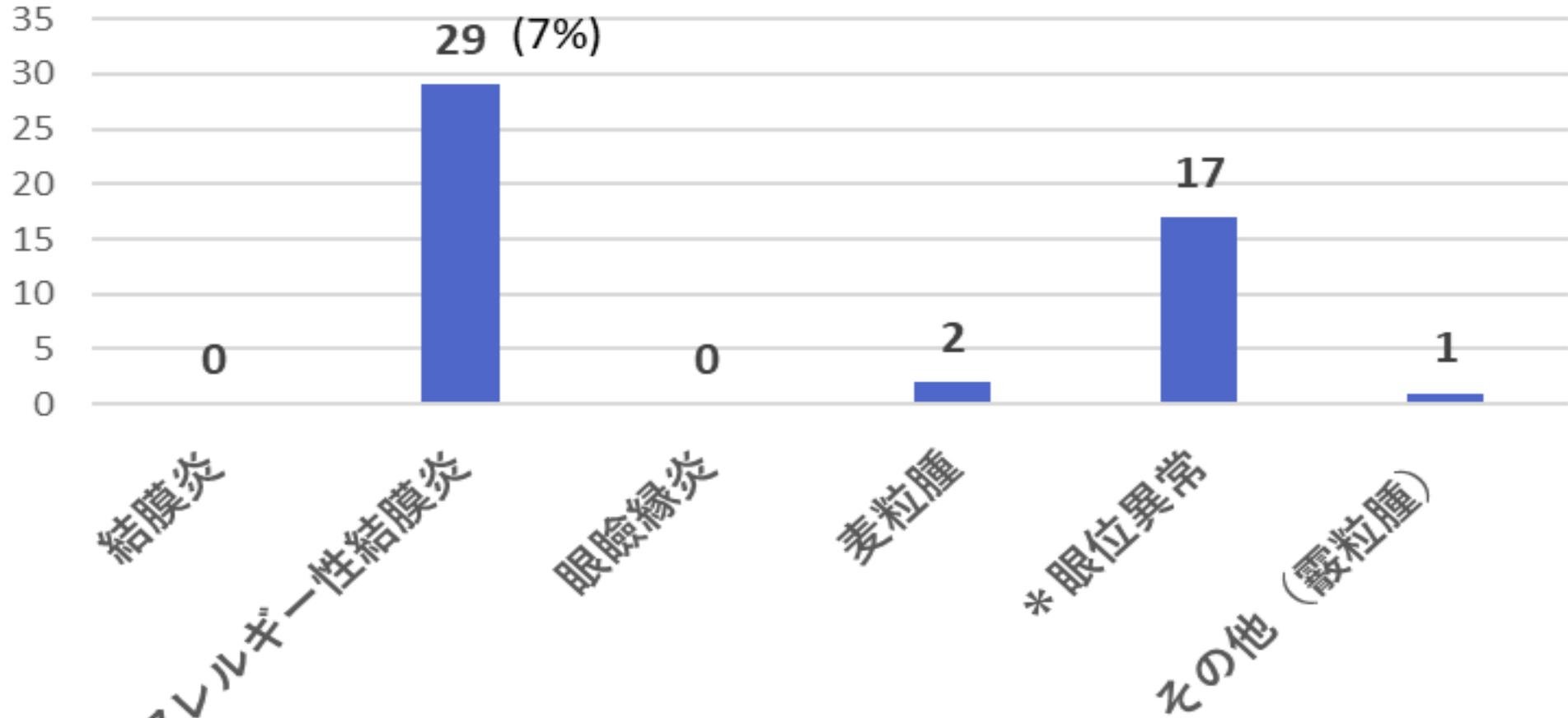
女子



* 肥満度40%以上 : 小児生活習慣病検診対象 男子 4人

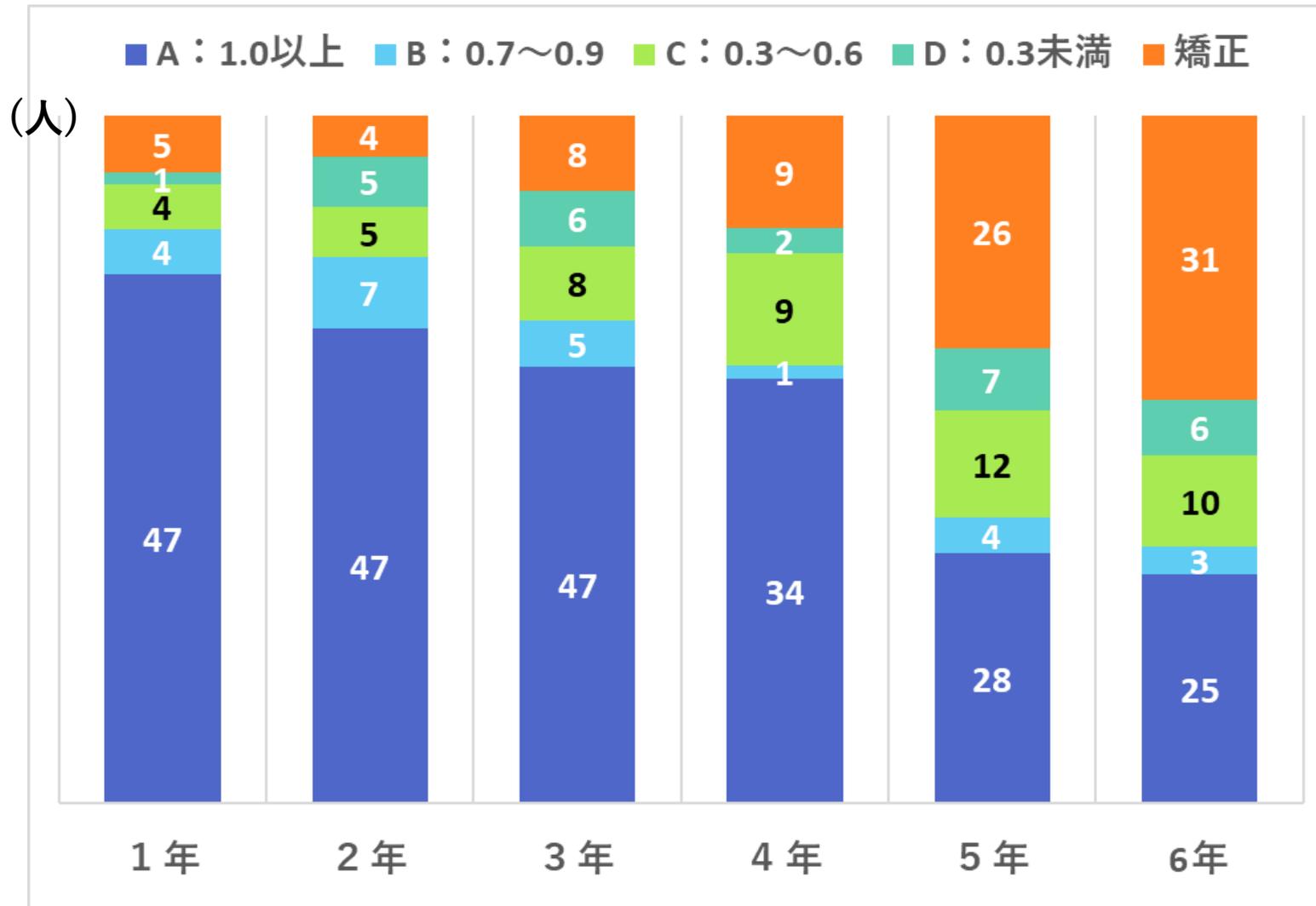
<眼科検診>

(人)



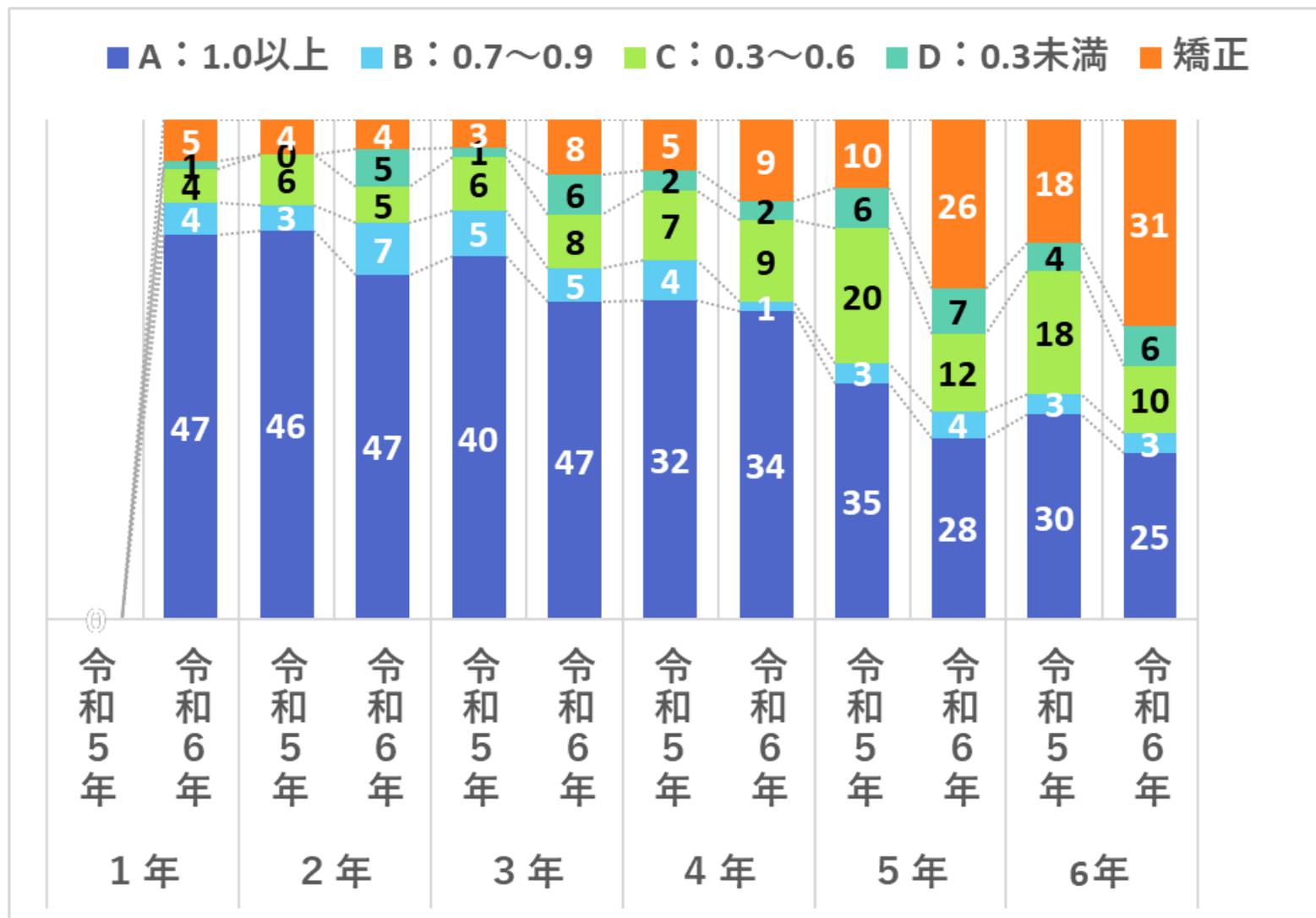
- *** 1年以内に症状が出たものも含む（保健調査票より）
- ★アレルギー性結膜炎29人(7%)が昨年同様が多い。
- 眼位異常は、間欠性外斜視がほとんどである。

〈視力検査〉



学年が上がると視力が下がっている。(めがねの児童、0.3未満の児童が増えている。)

視力検査(昨年との比較)



昨年と比べると3年生以上は、視力が下がっている。

記

主治医 殿

本校児童・生徒が伺いましたら、よろしくお願ひします。
 なお、お手数ですが診察の結果を記入して下さるようお願いいたします。

____年__組 氏名_____

視力		医師の所見		
裸眼	矯正	種別		
右		1 異常なし	眼鏡の必要	1 有 (常時・授業中) 2 無 3 経過観察
		2 仮性近視 (右・左)		
		3 近視 (右・左)	眼鏡の 適合状態	1 このままでよい 2 レンズをかえた ほうがよい
		4 近視性乱視 (右・左)		
左		5 遠視 (右・左)	座席の考慮	1 要 2 否
		6 遠視性乱視 (右・左)		
		7 乱視 (右・左)		
		8 雑性乱視 (右・左)		
		9 その他		

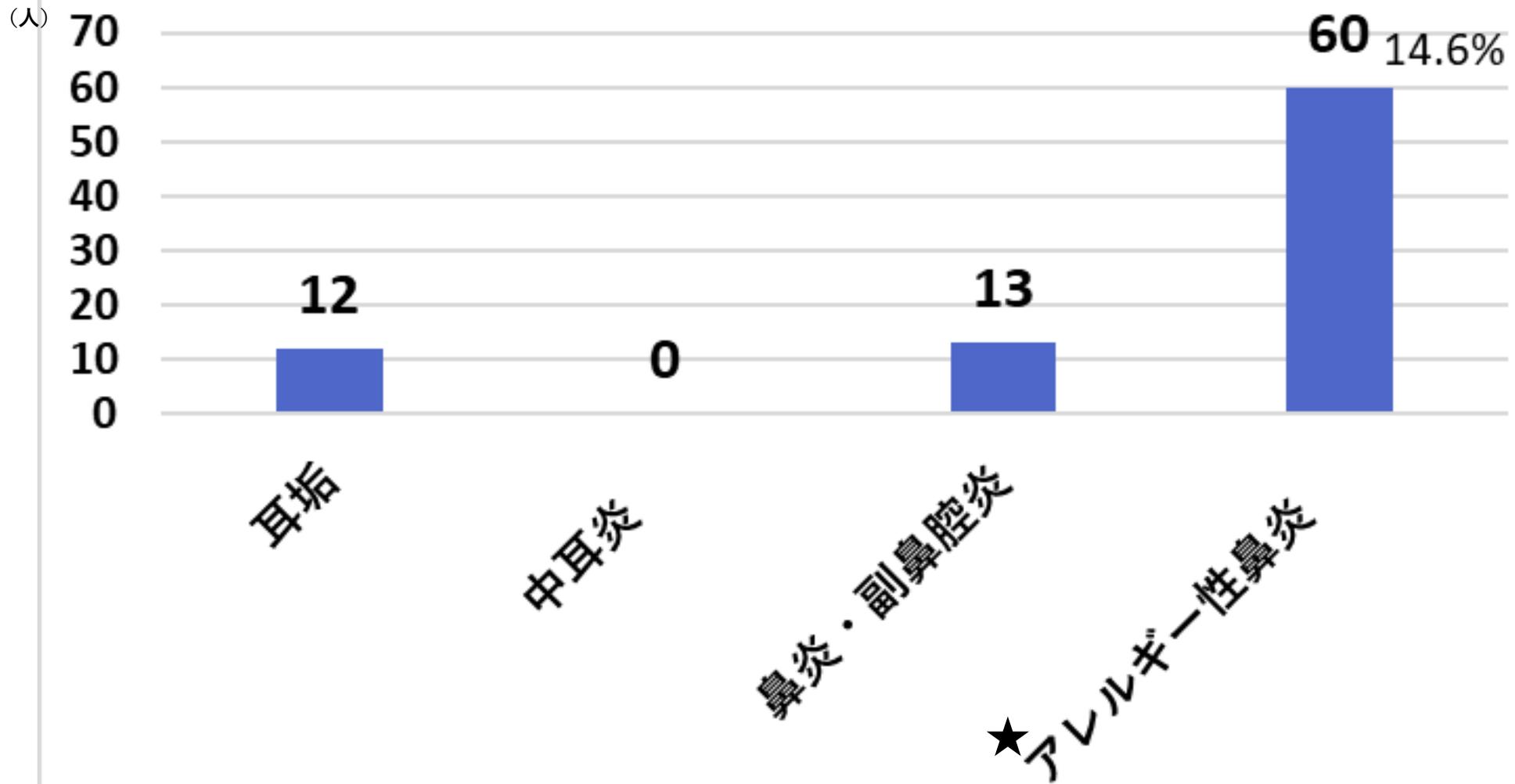
**めがねをかけても
見えない場合
座席の考慮「要」**

練馬区眼科医会

年 月 日 医師氏名 _____ 認印省略

視力が低い児童が増えてきて、前席への配慮が難しくなっている。

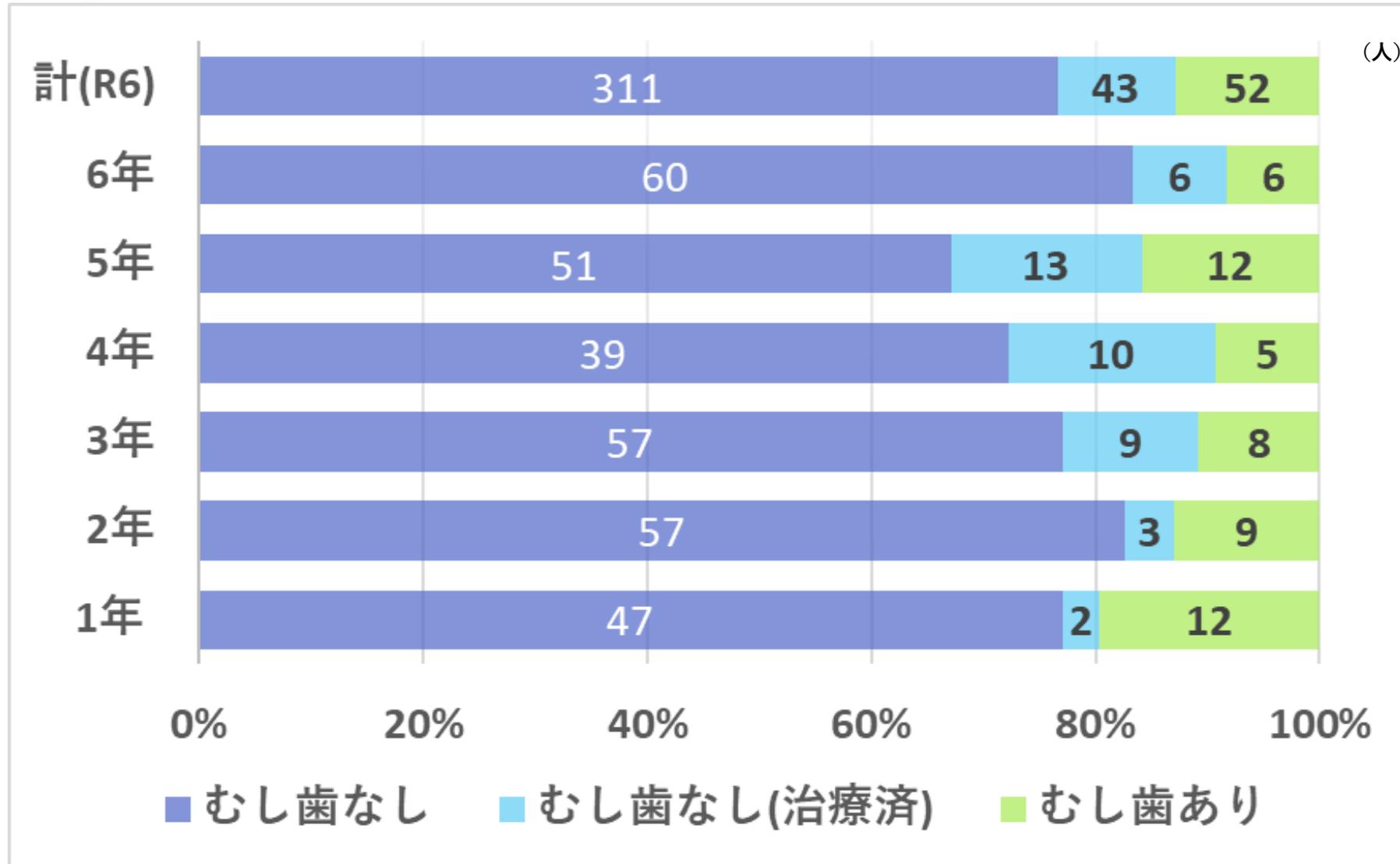
〈耳鼻科検診〉



*** 1年以内に症状が出たものも含む（保健調査票より）

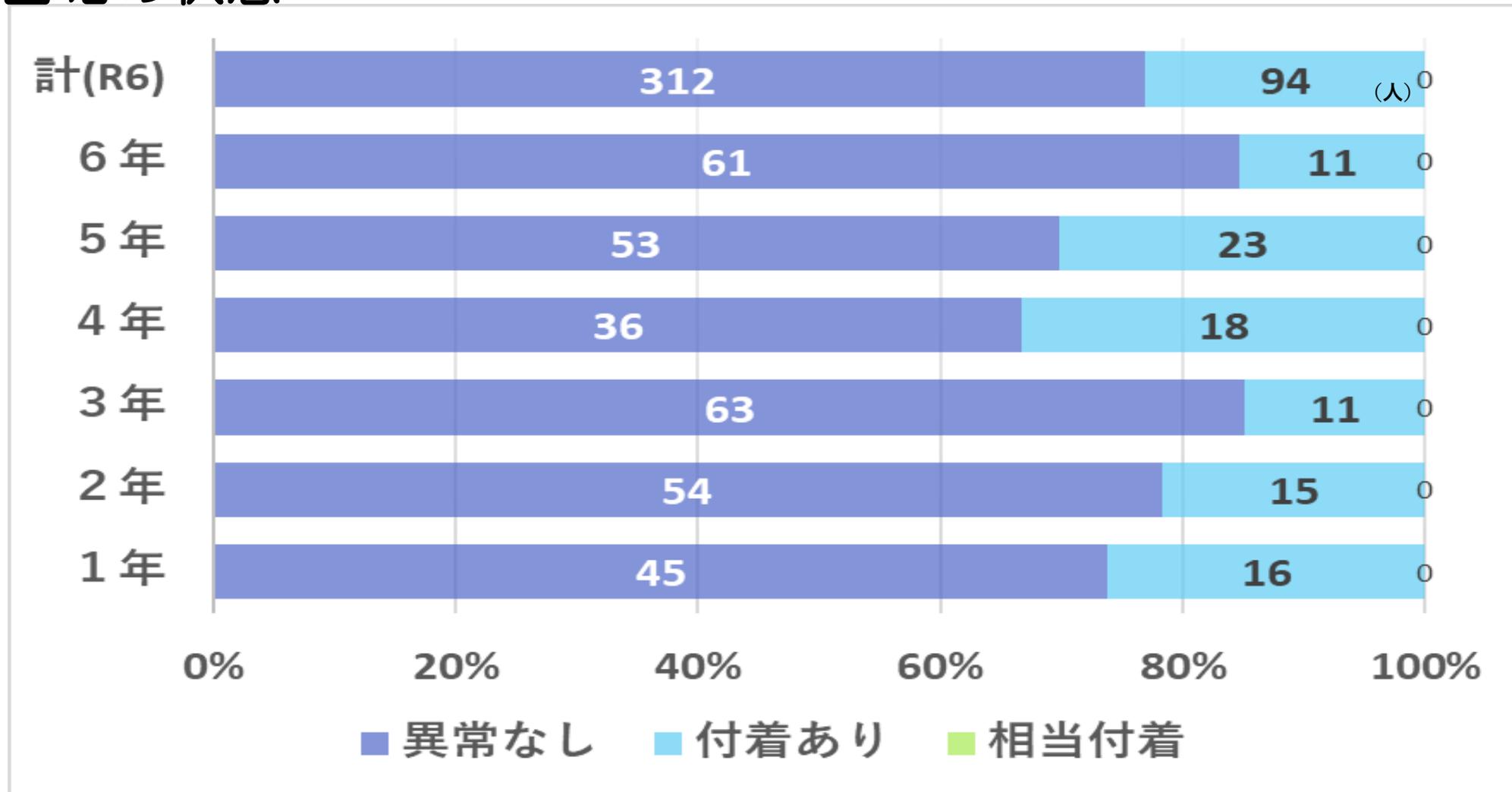
★アレルギー性鼻炎60人(14・6%)

〈歯科検診〉 乳歯・永久歯のむし歯



1・5年でむし歯ありの割合が高くなっている。4年6年で少ない。全体では、90%弱の子がむし歯なし。

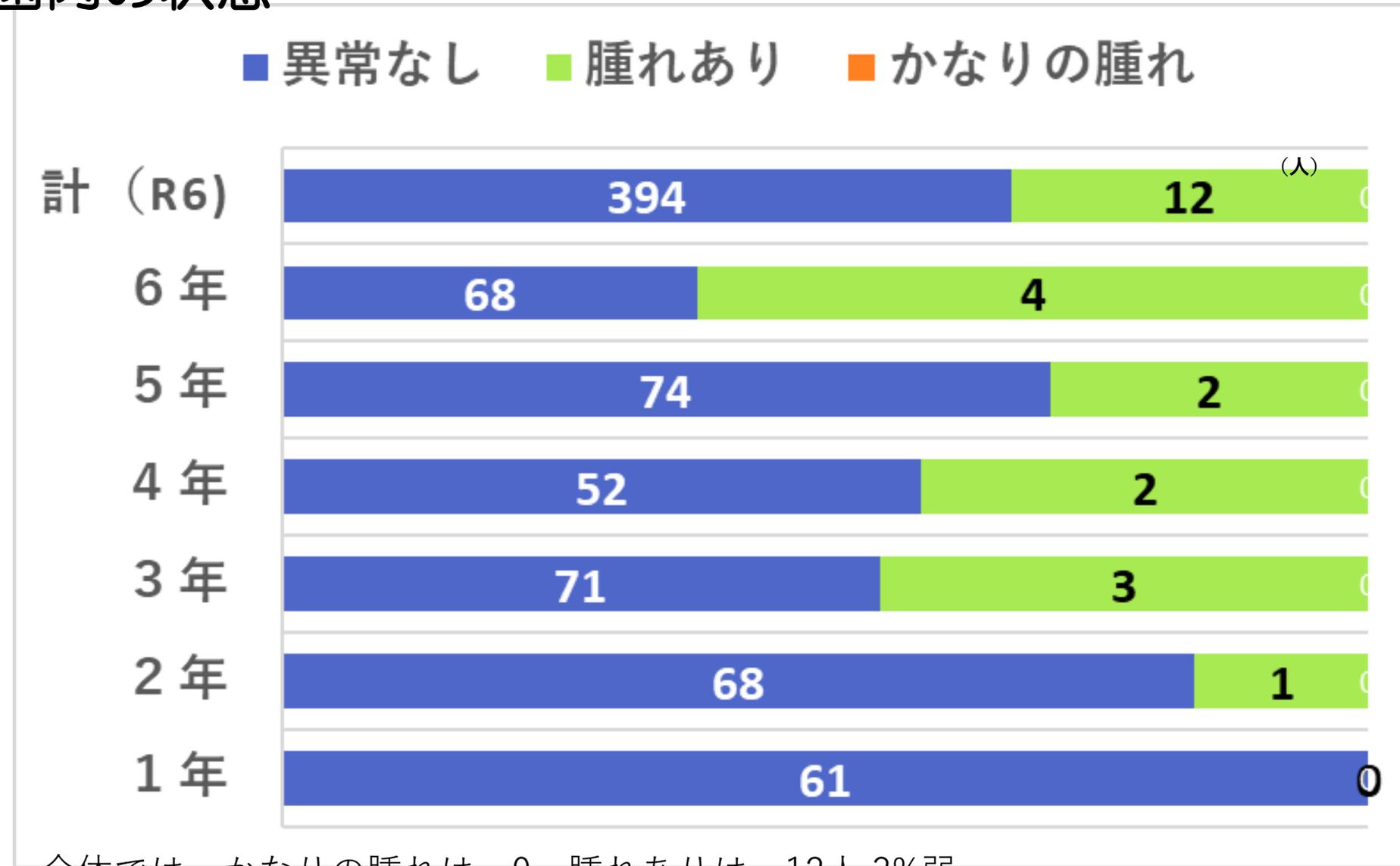
歯垢の状態



相当付着は0。付着ありは、3・6年生は、少ない。全体では、94人、23%

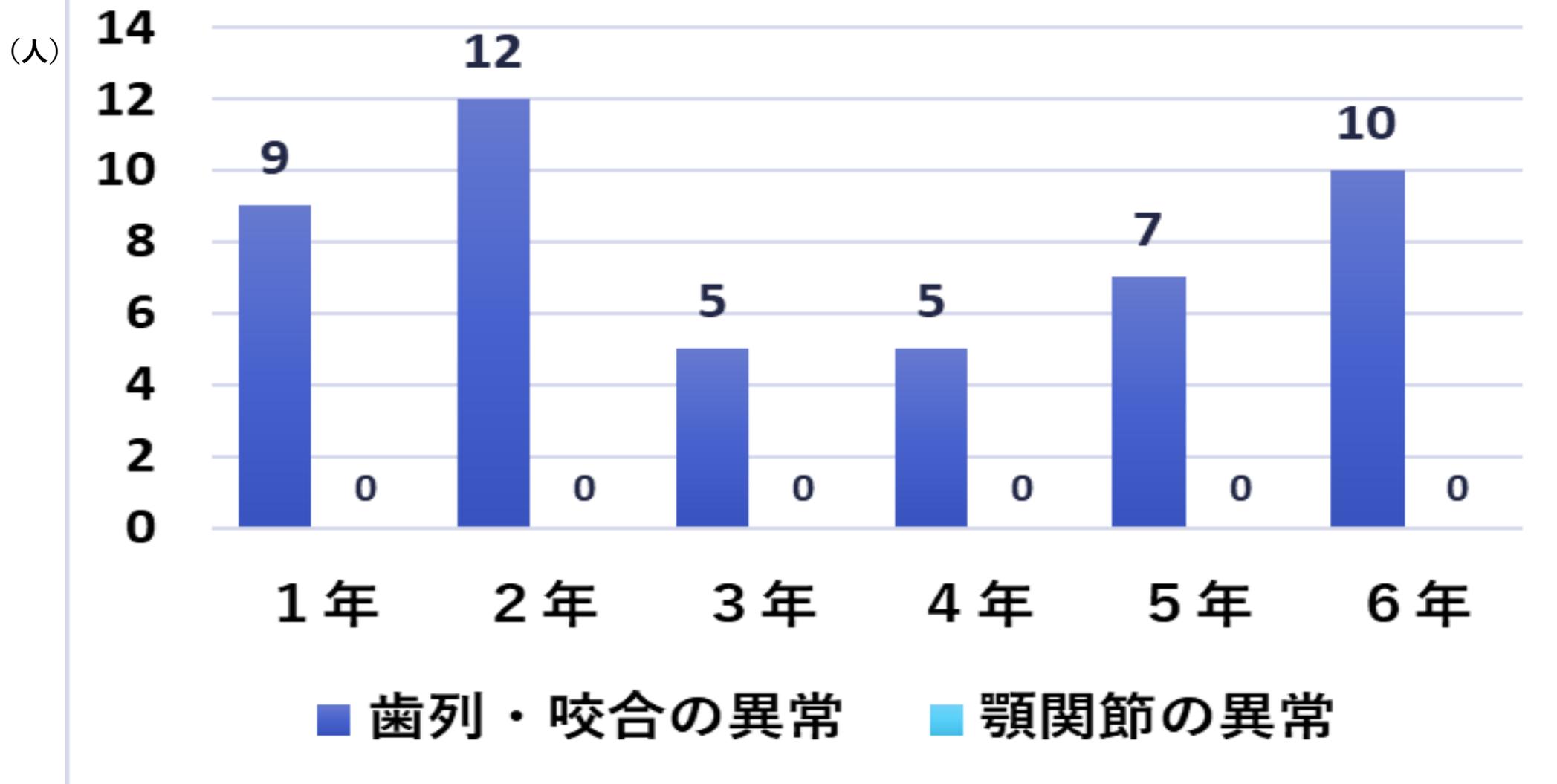
Q 赤いラムネで磨き残し 歯垢を染めるテストは、学校では行われなくなってしまったのでしょうか？
4年生で仕上げ磨きを嫌がるので自覚してもらうために実施してほしい。

歯肉の状態



全体では、かなりの腫れは、0。腫れありは、12人 3%弱。

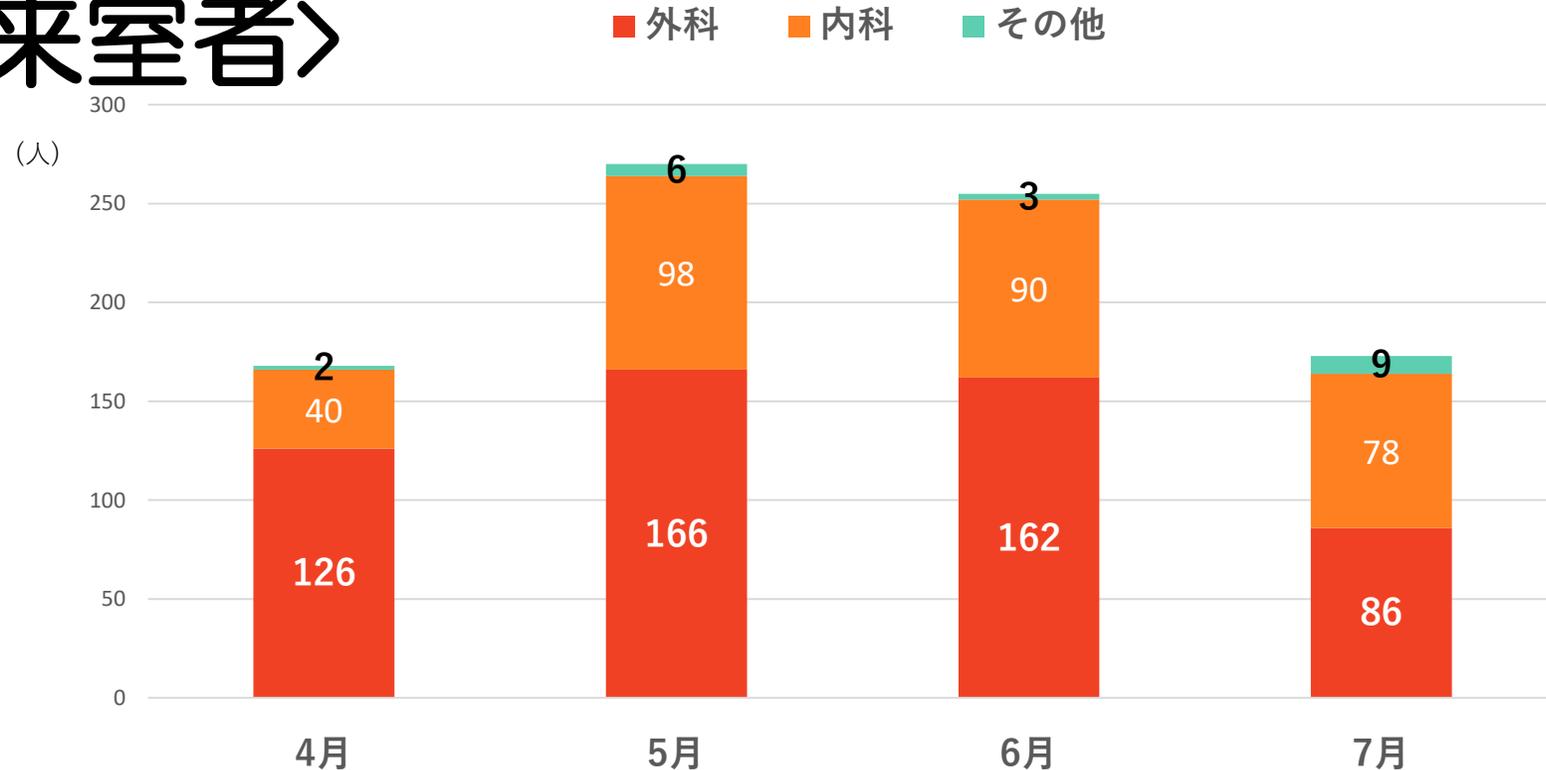
歯列・咬合・顎関節



2年→6年→1年→5年順で歯列・咬合の異常の指摘が多い。受診後は、ほとんど経過観察となっている。
Q 歯並び、顎の発育に関して家庭でできることや注意点を教えてください。

II 保健室来室状況 (4月8日~7月19日 総計866人)

＜月別来室者＞



内科的な症状は「頭痛」「きもちわるい」「腹痛」が多く、5月頃から熱中症症状・片頭痛症状の児童が増えてきて、早退するケースもあった。心因的なもので身体症状が出る場合もある。外科的なものは、打撲(頭・眼・歯・手足)やすり傷が多いが、歯のけがや眼に木くずが入ったりして、緊急受診することもあった。

あたまが痛い



熱中症予防



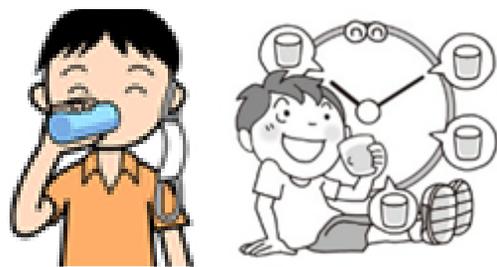
きもちわるい

筋肉痛

十分な睡眠



こまめな水分補給



□のどがかわく前に飲む

朝起きて・食事のとき・登校して
運動前後・運動中・下校するとき
帰宅後・入浴前後

□水筒を忘れない

中身は、スポーツ飲料も可(学
校の水道水・冷水機は、検査済
みで安全)

三食食べる 特に朝ごはん



体調不良時は、 無理をしない



□朝ごはん 水分と塩分を おすすめは、味噌汁やスープ

忙しいときは、とうふ・味噌汁の具等
インスタントも活用(災害時にも利用できる)

*朝食(ちょうしょく)をぬかすと水分(すいぶん)500mlが
とれません

直結栓

測定場所	(南) 校舎 (3) 階 (3年1組前廊下流し)		
検査項目	判定基準	結果	判定
色・濁り・臭い・味	異常でない	異常のあるもの(なし)	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適
遊離残留塩素 放水5分後	0.1mg/L以上	0.3 mg/L	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適
不適合の場合さらに5分後		mg/L	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適

◎直結栓のみの学校は最末端を①に、さらに分岐のある場合この欄に記載。

飲料水施設・設備について

設備名	改善点のある場合、その内容	
貯水槽(受水槽)	特になし	
高置水槽	南校舎高置水槽通気管笠部に亀裂個所あり(簡易専用水道検査成績書より)	
流し・水栓など	特になし	
冷水機 (ウォータークーラー) (5) 基	使用状況	<input checked="" type="checkbox"/> 使用(5)基 <input type="checkbox"/> 使用停止()基 <input type="checkbox"/> 機械を停止()基 <input type="checkbox"/> 条件付使用()基 条件詳細()
	衛生状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 要改善
	給水	<input checked="" type="checkbox"/> 直結水(5)基 <input type="checkbox"/> タンク水(貯水槽や高置水槽からの水)()基
	点検	(過去一年間) <input checked="" type="checkbox"/> 業者点検をした <input checked="" type="checkbox"/> 日常点検をしている <input type="checkbox"/> 特になし

〈保健室〉



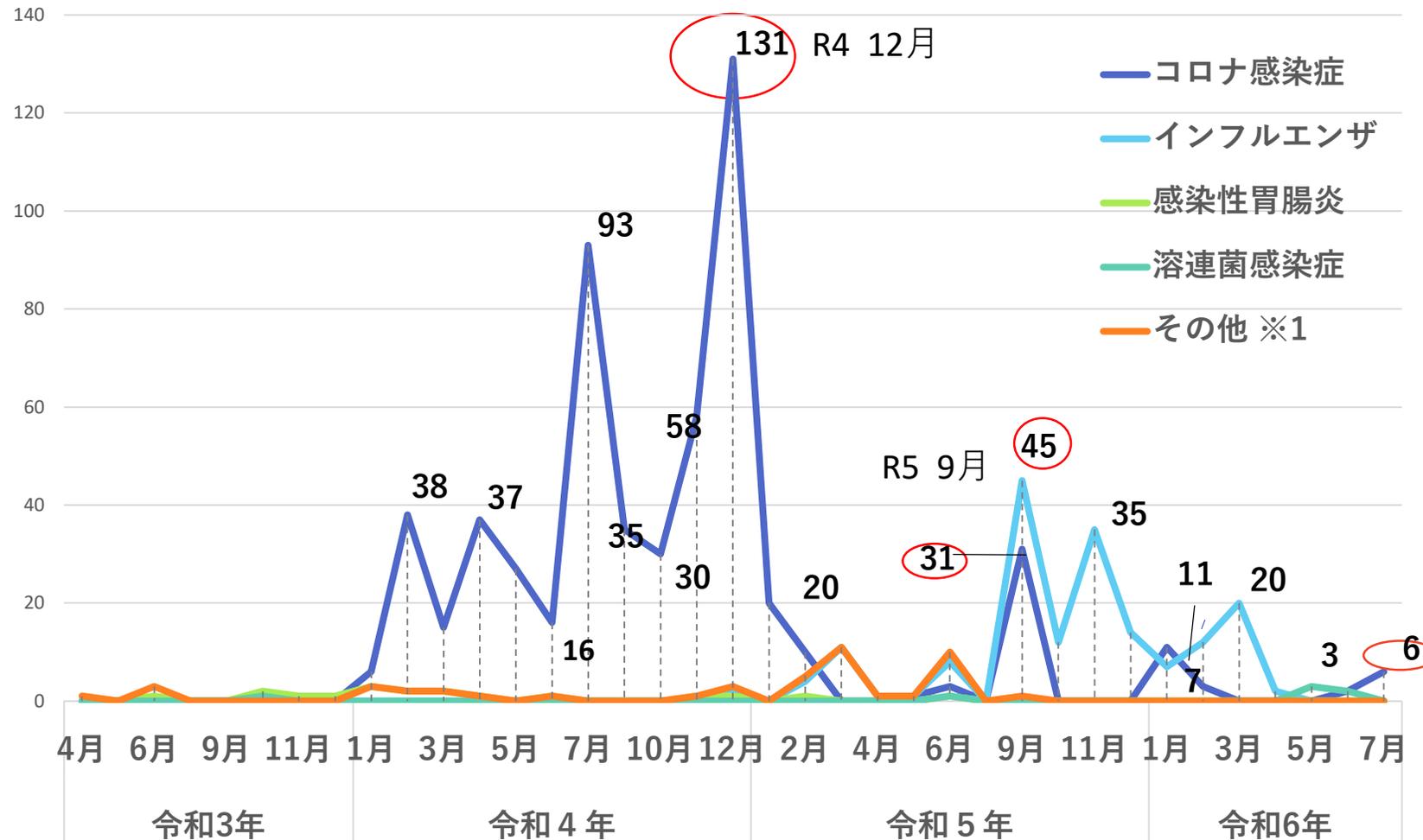
廊下：けがの手当て



保健室内：体調不良者・受診を要するけが等保護者お迎え待ち

発熱・熱中症・頭痛・腹痛などの体調不良者・アレルギー発症や受診するようなけがから打撲・擦過傷など1日15～25人くらいの児童が来室するので、「保健室内感染のリスク」や「要経過観察児童」のことを考えて、保健室待機者が4名以上にならないように、教室での学習継続が難しい場合は、保護者の方に迎えにきてもらうなどのご協力をお願いしています。

Ⅲ 感染症動向 (令和3年4月6日～令和6年7月19日)



令和4年度は、コロナ感染症の発症が多く、昨年は、9月以降インフルエンザの発症が多かった。今年に入っても、インフルエンザ、コロナの発症は、他の感染症より多く発症している。夏休み前は、コロナの発症が6人。

その他 参考資料

定期健康診断結果より

〈身体測定結果〉（練馬区との比較）



区分		身長 (cm)			体重 (kg)		
		練馬区	本校	差	練馬区	本校	差
男	1年	117.2	116.1	▼ -1.1	21.6	19.9	▼ -1.7
	2年	123.4	123.9	0.5	24.7	24.1	▼ -0.6
	3年	128.8	128.8	0.0	27.7	27.4	▼ -0.3
	4年	134.4	134.9	0.5	31.2	32.7	1.5
	5年	140.0	140.6	0.6	35.2	35.1	▼ -0.1
	6年	146.2	147.5	1.3	39.4	41.3	1.9
女	1年	116.3	116.5	0.2	21.1	20.3	▼ -0.8
	2年	122.1	121.8	▼ -0.3	23.9	23.0	▼ -0.9
	3年	128.1	128.9	0.8	26.9	26.7	▼ -0.2
	4年	134.6	133.8	▼ -0.8	30.8	28.9	▼ -1.9
	5年	141.4	140.5	▼ -0.9	34.9	34.4	▼ -0.5
	6年	148.0	148.0	0.0	40.1	38.2	▼ -1.9

・ *練馬区の値は、令和5年度
▼黄色は、練馬区平均より
下まわっている

〈男子〉

・ 1年生が身長・体重ともに練馬区平均より低い

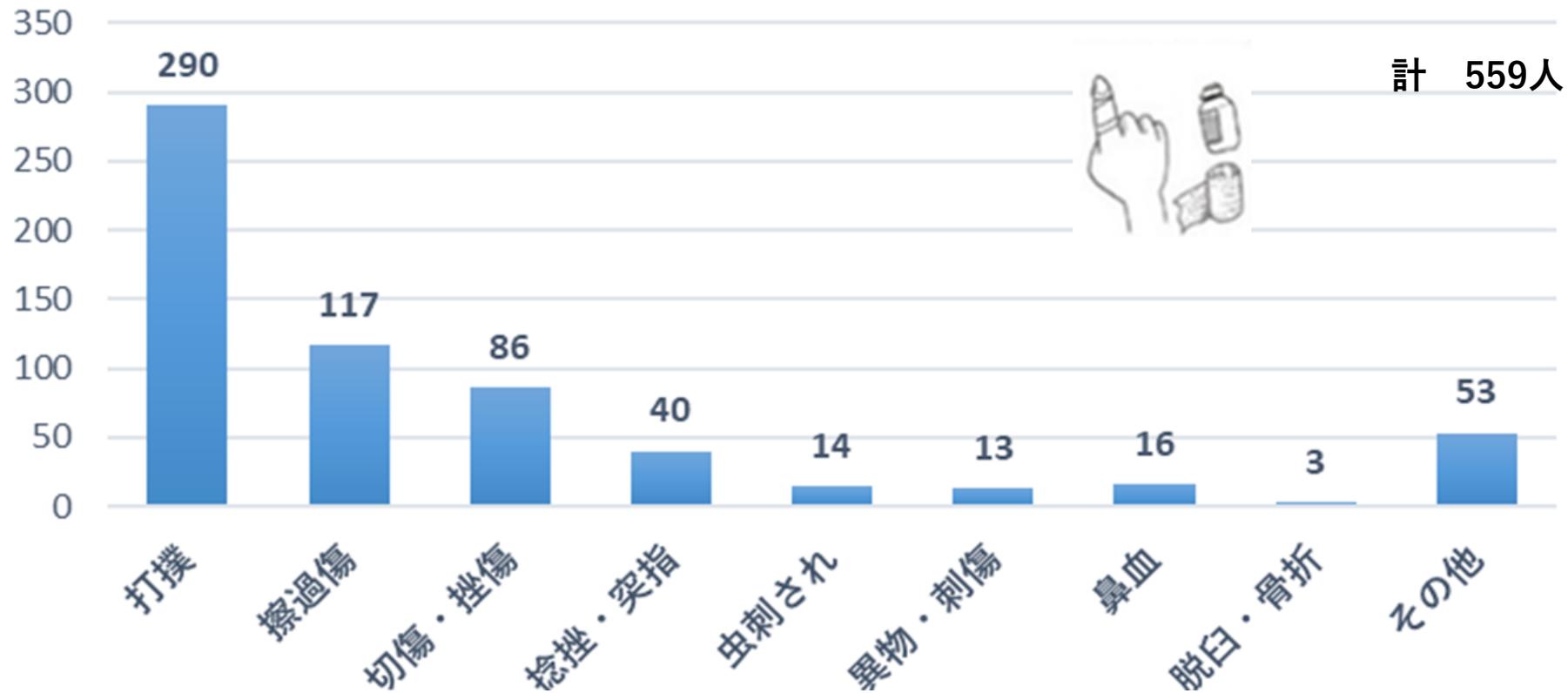
〈女子〉

・ 2・4・5年身長・体重ともに練馬区平均より低い

体重については、4年6年男子以外少なめ

- ▶ ◇成長・発達は、個人差あり。健康カードの成長曲線に
- ▶ 点を打って確認を

II 保健室来室状況 〈外科的来室状況〉

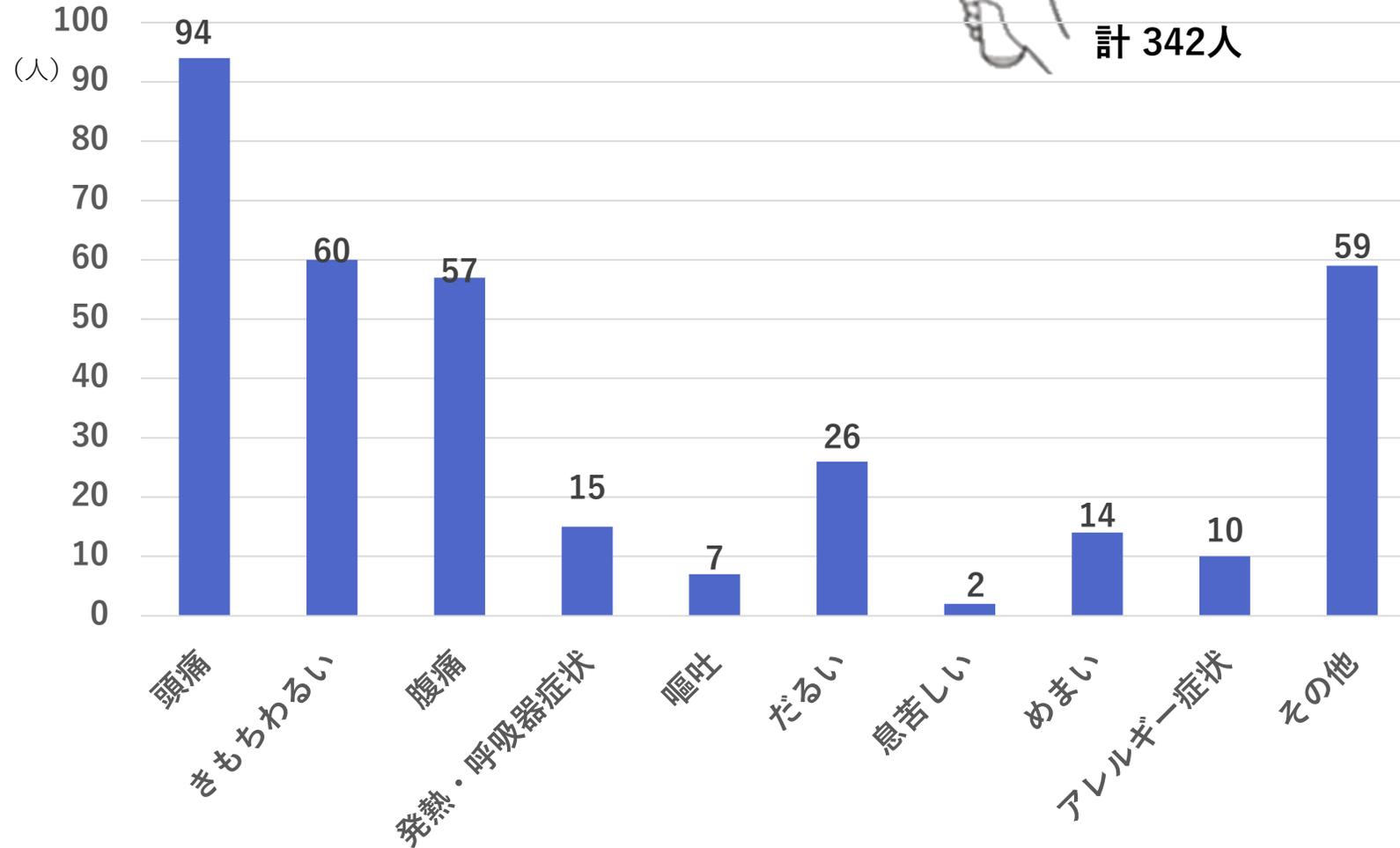


打撲（手足・頭・顔面・歯・口・眼等）・擦過傷・切傷が多い。医療機関に受診にいたらないちょっとした日常的なけがが多い。

〈内科的来室状況〉



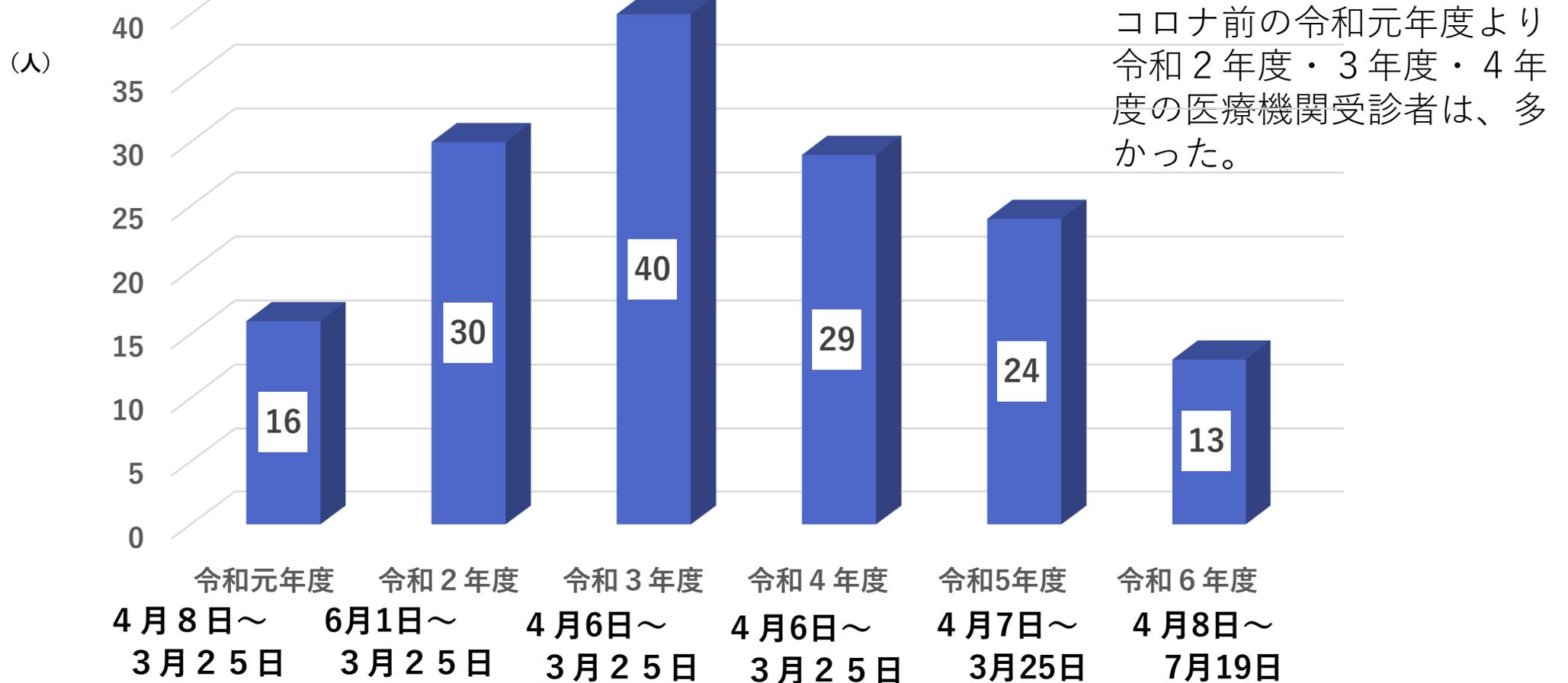
計 342人



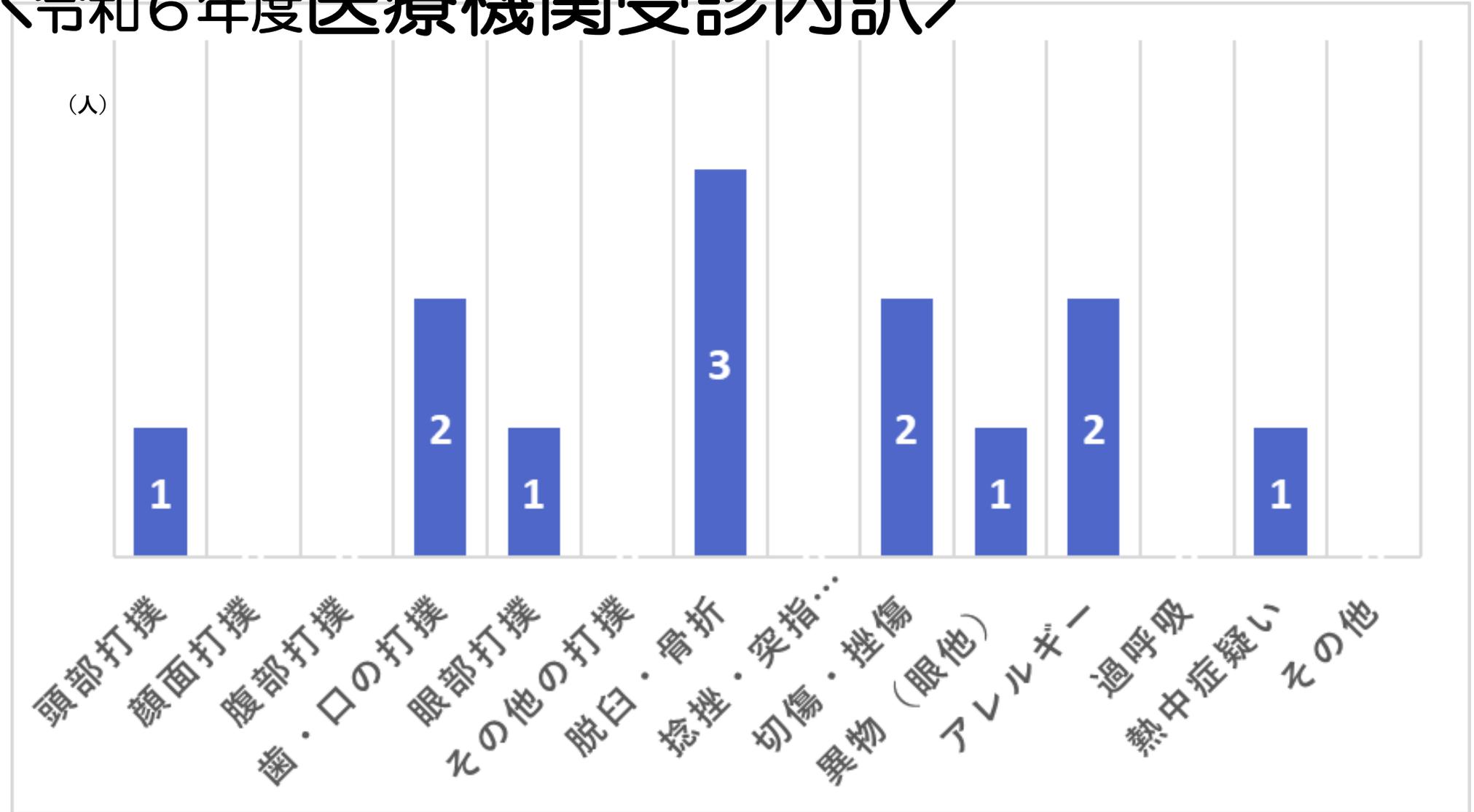
「頭痛」「きもちわるい」「腹痛」が内科的三大症状。熱中症症状・片頭痛・心因性など原因は、様々。熱中症症状・片頭痛と考えられる来室は、5・6月が多かった。

Ⅲ 医療機関受診状況

〈年度別医療機関受診者数〉

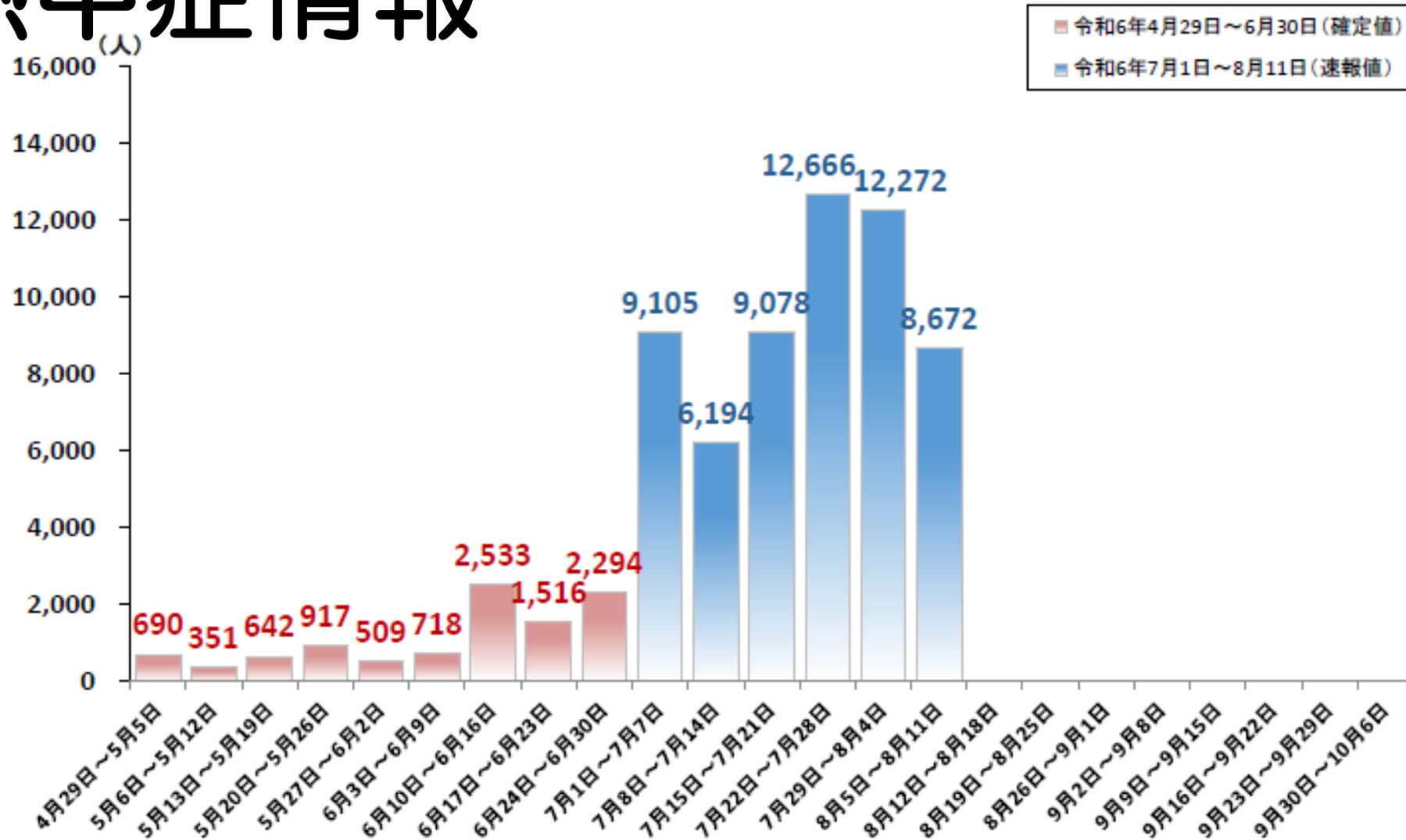


〈令和6年度医療機関受診内訳〉



IV熱中症情報

〈令和6年熱中症による救急搬送状況(週別推移)〉



* 速報値(青)の救急搬送人員は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

はい

チェック2 呼びかけに応えますか？

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

はい

水分・塩分を補給する

チェック4 症状がよくなりましたか？

はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

いいえ

救急車を呼ぶ

いいえ

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

いいえ

医療機関へ



救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。呼びかけへの反応が悪い場合には無理に水を飲ませてはいけません



氷のう等があれば、首、腋の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう



本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう



大量に汗をかいている場合は、塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう

図2-7 熱中症を疑ったときには何をすべきか